八重瀬町の将来像

「大地の活力と　うまんちゅの魂が創り出す　自然共生の清らまち」

将来像には、「自然の力と人々の力を合わせ、調和させることによって、活力と魅力に満ちた八重瀬町を実現し、いつまでも続くように」という願いが込められています。

大地の活力

森林などの自然環境や、生産活動の基礎となる土地、農林水産業などに欠かせない地力

うまんちゅの魂

八重瀬町に暮らすすべての人々の魂や気力

自然共生の清らまち

八重瀬町が理想とする、自然豊かで清らかな美しいまち

まちのシンボル「八重瀬岳」

東風平地区と具志頭地区の間にまたがる八重瀬岳は、まちのシンボル的な存在であり、昔から身近な存在として親しまれてきました。遺跡や史跡、自然、桜など豊かな地域資源を有し、新町名の由来となっています。八重瀬の「八重」はいくつにも重なっていることを意味し、「八」は末広がりで幸せが幾重にも重なり、「瀬」は物事に出会う時の意味があります。「八重瀬」には、幾重にも重なった人々の繁栄と末広がりの発展性のある町のイメージがあり、それが八重に続くことが願われています。

町 章

［町花］
マリーゴールド

［町木］
リュウキュウコクタン

［町花木］
ヒカンザクラ

［町魚］
トビウオ

八重瀬町の頭文字「八」を八重瀬岳に見立て、鮮やかな緑色で「大地の活力」を表現し、中心の丸は、融和をもってまちづくりに取り組む「町民の心」を、明るく温かみのあるオレンジ色で「うまんちゅの魂」を、さらに「水色の部分」は、八重瀬岳のふもとで繁栄する「自然と共生する清らまち」八重瀬町を表現しています。

八重瀬町の位置

【町民憲章】

八重瀬町は、沖縄本島の南に位置し、八重瀬岳のふもとに広がる恵まれた自然や先人たちが
築き上げてきた悠久の歴史、伝統文化が息づくまちです。
わたしたち八重瀬町民は、その誇りと責任をもち、
心豊かで明るく活力あるまちづくりをめざし町民憲章を定めます。

一、わたしたちは自然を守り育て、住みよいまちをつくります。
一、わたしたちはいのち、ふれあいを大切に、思いやりのあるまちをつくります。
一、わたしたちは心とからだをきたえ、健康で明るいまちをつくります。
一、わたしたちは歴史を学び、平和で、文化のかおるまちをつくります。
一、わたしたちは働くよろこびと若い力が育つ、活気あふれるまちをつくります。